

■ 消化器外科研修プログラム

1) 一般目標

日常診療で頻繁に経験する消化器外科的疾患に対する基本的な外科的臨床能力を身に付けるとともに、患者、家族に対し適切かつ誠実な対応のできる医師を目指す。

2) 行動目標

1. 頸部、胸部、腹部の視診・触診・聴診・打診から消化器疾患を発見できる。
2. 急性虫垂炎の腹部所見(Defense、Blumberg signなど)を理解できる。
3. 鼠径ヘルニアの局所所見を評価し、手術を行うことができる。
4. イレウス・腸閉塞の腹部所見を評価できる。
5. 消化器がんのステージを判断し、適切な治療法を検討できる。
6. 手術に助手として参加し、スコピスト・開腹・閉創などの役割を担う。

3) 研修方法

1. 入院患者を主治医チームの一員として受け持ち、上級医、指導医のもとで診療(検査、診断、術前・術後管理)に当たる。
2. 指導医、上級医と共に手術に入り、術中管理や手術手技を学ぶ。
 - ・ 開腹手術の第二助手
 - ・ 腹腔鏡手術のスコピスト
 - ・ 鼠径ヘルニア手術の執刀
 - ・ 中心静脈カテーテル挿入、CVポート造設
 - ・ 腹腔穿刺、胸腔穿刺
3. 症例検討会等で症例呈示を行い、問題点を提起するとともに議論に参加する。
4. 病棟スタッフに担当患者の病態を的確に説明する。
5. 担当患者の疾患に対する情報収集、文献検索などを行う。

4) 評価

1. EPOC2で評価する。

消化器外科 週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	術後検討会 入院患者 病状報告	入院患者 病状報告	入院患者 病状報告	術前検討会 入院患者 病状報告	入院患者 病状報告
	手術	手術	手術	手術	手術
午後	手術	手術	手術	手術	手術
	消化器内科と 合同検討会				